

様式第1 (第3条関係)

特定施設(有害物質貯蔵指定施設)設置(使用、変更)届出書

XXXX 年 X 月 X 日

(あて先) 一宮市長

該当しない項目に線を引く。

住所

一宮市××町1-2-3

氏名又は名称

届出者

法人にあっては代表者氏名 ○○株式会社

代表取締役 一宮 太郎

提出年月日を記入する。(郵送の場合は、発送日)

水質汚濁防止法第5条第1項、第2項又は第3項(第6条第1項又は第2項、第7条)の規定により、特定施設(有害物質貯蔵指定施設)について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称		○○株式会社 本社工場		※整理番号	
工場又は事業場の所在地		一宮市××町 1-2-3		※受理年月日	年 月 日
第5条第1項関係	特定施設の種 類	67 洗濯業の用に供する 洗浄施設		※施設番号	
	有害物質施設の該当の有無	有 ☐	無 ☒	※審査結果	
	△ 特定施設の構造	別紙1のとおり。		※備 考	
	△ 特定施設の設備(有害物質使用特定施設の場合に限る)	別紙1の2のとおり。			
	△ 特定施設の使用の方法	別紙2のとおり。			
	△ 汚水等の処理の方法	別紙3のとおり。			
	△ 排出水の汚染状態及び量	別紙4のとおり。			
	△ 排出水の排水系統別の汚染状態及び量	別紙5のとおり。			
第5条第2項関係	△ 排出水に係る用水及び排水の系統	別紙6のとおり。			
	有害物質使用特定施設の種 類				
	△ 有害物質使用特定施設の構造	別紙7のとおり。			
	△ 有害物質使用特定施設の使用の方法	別紙8のとおり。			
	△ 汚水等の処理の方法	別紙9のとおり。			
	△ 特定地下浸透水の浸透の方法	別紙10のとおり。			
△ 特定地下浸透水に係る用水及び排水の系統	別紙11のとおり。				

水質汚濁防止法施行令別表第一の号番号と名称を記入する。

・有害物質使用特定施設の該当有無をチェックする。
・有害物質使用特定施設に非該当の場合には、「別紙1の2」添付不要。

非該当の欄には、斜線を引く。

様式第 1 (裏面)

第 5 条 第 3 項 関 係	有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別	☐ 有害物質使用特定施設 ☐ 有害物質貯蔵指定施設		非該当の欄には、斜線を引く。
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の構造	別紙 1 2 のとおり。		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の設備	別紙 1 3 のとおり。		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の使用の方法	別紙 1 4 のとおり。		
	△施設において製造され、使用され、若しくは処理される有害物質に係る用水及び排水の系統又は施設において貯蔵される有害物質に係る搬入及び排出の系統	別紙 1 5 のとおり。		

備 考

- 1 特定施設の種類の欄及び有害物質使用特定施設の種類の欄には、令別表第一に掲げる号番号及び名称(指定地域特定施設にあたっては、名称)を記載すること。
- 2 有害物質使用特定施設の該当の有無の欄には、該当するものにレ印を記入すること。なお、有害物質使用特定施設に該当しない場合には、別紙 1 の 2 を提出することを要しない。
- 3 有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別の欄には、該当するものにレ印を記入すること。
- 4 △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、出来る限り、図面、表等を利用すること。
- 5 ※印の欄には、記載しないこと。
- 6 排出水の排水系統別の汚染状態及び量については、指定地域内の工場又は事業場に係る届出書に限りて欄を設けること。
- 7 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
- 8 届出及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむ得ないものを除き、日本産業規格 A 4 とすること。

特定施設の構造		
工場又は事業場における施設番号	1	工場において使用している番号等があれば、記入する。
特定施設番号及び名称	67 洗濯業の用に供する洗浄施設	水質汚濁防止法施行令別表第一の号番号と名称を記入する。
型 式	〇〇社製 ZB-XXX	型式、材質、大きさ等を記載し、カタログなどを添付する。
構 造	材質：ステンレス製	
主要寸法	長さ：1.66m 幅：1.65m 高さ：1.90m	工場全体の配置図を添付し、特定施設の設置場所を明示する。
能 力	20kg/回	
配 置	別紙配置図のとおり	
設置年月日		・使用届の場合には、「設置年月日」を記入する。 ・設置・変更届の場合には、「工事着手予定年月日」、「工事完成予定年月日」、「使用開始予定年月日」を記載する。
工事着手予定年月日	〇〇〇〇年 〇〇月 〇〇日	
工事完成予定年月日	〇〇〇〇年 〇〇月 〇〇日	
使用開始予定年月日	〇〇〇〇年 〇〇月 〇〇日	
その他参考となるべき事項		

備考 1 配置の欄には、当該施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。
2 その他参考となるべき事項の欄には、当該特定施設が有害物質使用特定施設に該当する場合には、施設の床面及び周囲の構造等を機材すること。

特定施設の使用の方法

工場又は事業場における施設番号	1				工場において使用している番号等があれば、記入する。
特定施設号番号及び名称	67洗濯業の用に供する洗浄施設				水質汚濁防止法施行令別表第一の号番号と名称を記入する。
設置場所	別紙配置図のとおり				設置場所が分かる図面を添付し、設置場所を明示する。
操業の系統	洗濯⇒脱水				
使用時間間隔	8 : 00～17 : 00				特定施設を含む工程フローを記載する。
1日当たりの使用時間	8時間				
使用の季節的変動	無し				
原材料（消耗資材を含む。）の種類、使用方法及び1日当たりの使用量	洗剤5kg 助剤2kg 柔軟剤1L				特定施設を含む作業工程で実際に使用している全ての原材料等について記入する。
汚水等の汚染状態	種類・項目	通常	最大	通常	最大
	pH	6～9	6～9		
	BOD	25	30		
	COD	25	30		
	SS	9	12		
	T-N	15	20		
	T-P	0.6	0.8		
汚水等の量 ($\text{m}^3/\text{日}$)		通常	最大		
		3.0	4.0		
その他参考となるべき事項		使用有害物質：		使用有害物質：	

備考 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

汚水等の処理の方法

工場又は事業場における 施設番号	1		工場において使用している番号等があれば、記入する。						
処理施設の設置場所	別紙配置図のとおり		設置場所が分かる図面を添付し、設置場所を明示する。						
設置年月日									
工事着手予定年月日	〇〇〇〇年 〇〇月 〇〇日	年 月 日							
工事完成予定年月日	〇〇〇〇年 〇〇月 〇〇日	年 月 日							
使用開始予定年月日	〇〇〇〇年 〇〇月 〇〇日	年 月 日							
種類及び型式	pH調整 〇〇社製 AB-111		型式、材質、大きさ等を記載し、カタログなどを添付する。						
構造	コンクリート製								
主要寸法	XX×XX×XXm								
能力	0.5m ³ /日								
処理の方式	酸・アルカリによる中和		汚水処理の系統図を添付する。						
処理の系統	別紙のとおり		集水及び導水系統を工場図面等に明示する。						
集水および導水の方法	塩ビ管にて汚水処理施設に導水（別紙参照）								
使用時間間隔	連続								
1日当たりの使用時間	8時間								
使用の季節変動	なし		汚水処理施設で使用する薬品等について、その種類と使用量を記入する。						
消耗資材の 1日当たりの 用途別使用量	希硫酸 1kg 苛性ソーダ 1kg								
汚水等の 汚染状態 及び量	種類・項目	通常		最大		通常		最大	
		処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後
	pH	6～9	7～8.5	6～9	7～8.5				
	BOD	25	25	30	30				
	COD	25	25	30	30				
	SS	9	9	12	12				
	T-N	15	15	20	20				
	T-P	0.6	0.6	0.8	0.8				
	量(m ³ /日)	51		59					
残差の種類、1月間の種類別生成量及び処理方法		なし							
排出水の排出方法		処理水→No. 1 排水口→側溝→△△川							
その他参考となるべき事項									

備考 1 汚水等の汚染状況の欄には、当該特定事業場の排出水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

2 排出水の排出方法の欄には、排出口の位置及び数並びに排出先を含め記載すること。

排水口名称等を記入する。
雨水口を含み事業場内全ての排水口について記入する。

排水水の汚染状態及び量

工場又は事業場における施設番号		No. 1		No. 2～4（雨水専用）	
排水水の汚染状態	種類・項目	通常	最大	通常	最大
	pH	7～8.5	7～8.5		
	BOD	25	30		
	COD	25	30		
	SS	9	12		
	T-N	15	20		
	T-P	0.6	0.8		
排水水の量 ($\text{m}^3/\text{日}$)		通常	最大	通常	最大
		52	60	0（雨水専用）	
その他参考となるべき事項		特定施設→No. 1排水処理施設（pH調整）→No. 1排水口→側溝 し尿浄化槽排水 雨水→No. 2～4排水口→側溝 〇〇川 ・別紙1、2の特定施設と別紙3の処理施設との関係を明示する。 ・排水口ごとに、排出先を記入する。			

備考 排水水の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

総量規制基準に係る愛知県告示の別表の「業種その他の区分」及び「番号」を記入する。
「番号」は、「業種等及び規模一備考」(「617」、「223アー備」等)と記入し、別表備考欄の業種等に該当する場合、「その他参考となるべき事項」にその内容を記入する。

排水水の排水系統別の汚水状態及び量

通常:汚染状態(通常)×水量(通常)÷1000
最大:汚染状態(最大)×水量(最大)÷1000

指定項目の別										COD
業種その他の区分 (番号)	汚染状態 (mg/L)		水量 (m ³ /日)				汚濁負荷量 (kg/日)		COD	
	通常	最大	通常	最大	Q _{co}	Q _{ci}	Q _{cj}	通常		最大
	通常	最大	通常	最大	Q _{co}	Q _{ci}	Q _{cj}	通常		最大
特定排水水	洗濯業 (216)	25	30	51	59			59	1.275	1.77
	生活排水 (232ア)	10	15	1	1			1	0.01	0.015
	当該工程の排水処理後の水質を記入する。									
	当該工程の排水量を記入する。									
	通常:汚染状態(通常)×水量(通常)÷10 最大:汚染状態(最大)×水量(最大)÷10									
合 計				52	60			60	1.285	1.785
特定排水水以外の排水水	種類及び用途	汚染状態 (mg/L)		水量 (m ³ /日)		汚濁負荷量 (kg/日)		※雨水の記入は、不要です。		
		通常	最大	通常	最大	通常	最大			
合 計										
その他参考となるべき事項										

- 備考
- 1 本紙の記載にあたっては、指定項目ごとに作成すること。
 - 2 指定項目の別の項、汚染状態の項及び汚濁負荷量の項には、指定項目について記載すること。
 - 3 室素含有量について記載する場合には、「Q_{co}」を「Q_{no}」と、「Q_{ci}」を「Q_{ni}」と読み替え、Q_{cj}の項には記載しないこと。
 - 4 りん含有量について記載する場合には、「Q_{co}」を「Q_{po}」と、「Q_{ci}」を「Q_{pi}」と読み替え、Q_{cj}の項には記載しないこと。
 - 5 ※印の欄には記載しないこと。

総量規制基準に係る愛知県告示の別表の「業種その他の区分」及び「番号」を記入する。
「番号」は、「業種等及び規模－備考」(「617」、「2237－備」等)と記入し、別表備考欄の業種等に該当する場合、「その他参考となるべき事項」にその内容を記入する。

排水水の排水系統別の汚水状態及び量

通常:汚染状態(通常)×水量(通常)÷1000
最大:汚染状態(最大)×水量(最大)÷1000

特定排水水	業種その他の区分 (番号)	汚染状態 (mg/L)		水量 (m ³ /日)				指定項目の別 汚濁負荷量 (kg/日)		T-N
		通常	最大	通常	最大	Q _{co}	Q _{ci}	Q _{cj}	通常	最大
	洗濯業 (216)	15	20	51	59		59		0.765	1.18
	生活排水 (232ア)	8	12	1	1		1		0.008	0.012
	合 計			52	60		60		0.773	1.192
特定排水水以外の排水水	種類及び用途	汚染状態 (mg/L)		水量 (m ³ /日)		汚濁負荷量 (kg/日)		※		
		通常	最大	通常	最大	通常	最大			
	合 計									
その他参考となるべき事項										

- 備考
- 1 本紙の記載にあたっては、指定項目ごとに作成すること。
 - 2 指定項目の別の項、汚染状態の項及び汚濁負荷量の項には、指定項目について記載すること。
 - 3 窒素含有量について記載する場合には、「Q_{co}」を「Q_{no}」と、「Q_{ci}」を「Q_{ni}」と読み替え、Q_{cj}の項には記載しないこと。
 - 4 リン含有量について記載する場合には、「Q_{co}」を「Q_{po}」と、「Q_{ci}」を「Q_{pi}」と読み替え、Q_{cj}の項には記載しないこと。
 - 5 ※印の欄には記載しないこと。

総量規制基準に係る愛知県告示の別表の「業種その他の区分」及び「番号」を記入する。
「番号」は、「業種等及び規模一備考」(「617」、「2237ー備」等)と記入し、別表備考欄の業種等に該当する場合、「その他参考となるべき事項」にその内容を記入する。

排水水の排水系統別の汚水状態及び量

通常:汚染状態(通常)×水量(通常)÷1000
最大:汚染状態(最大)×水量(最大)÷1000

業種その他の の区分 (番号)	汚染状態 (mg/L)		水量 (m ³ /日)				指定項目の別 汚濁負荷量 (kg/日)		T-P	
	通常	最大	通常	最大	Q _{co}	Q _{ci}	Q _{cj}	通常	最大	
特定排水	洗濯業 (216)	0.6	0.8	51	59		59		0.0306	0.0472
	生活排水 (232ア)	0.8	1.2	1	1		1		0.0008	0.0012
合 計			52	60		60		0.0314	0.0484	
特定排水以外の排水	種類及び用途	汚染状態 (mg/L)		水量 (m3/日)		汚濁負荷量 (kg/日)				
	通常	最大	通常	最大	通常	最大				
合 計										
その他参考となるべき事項										

※

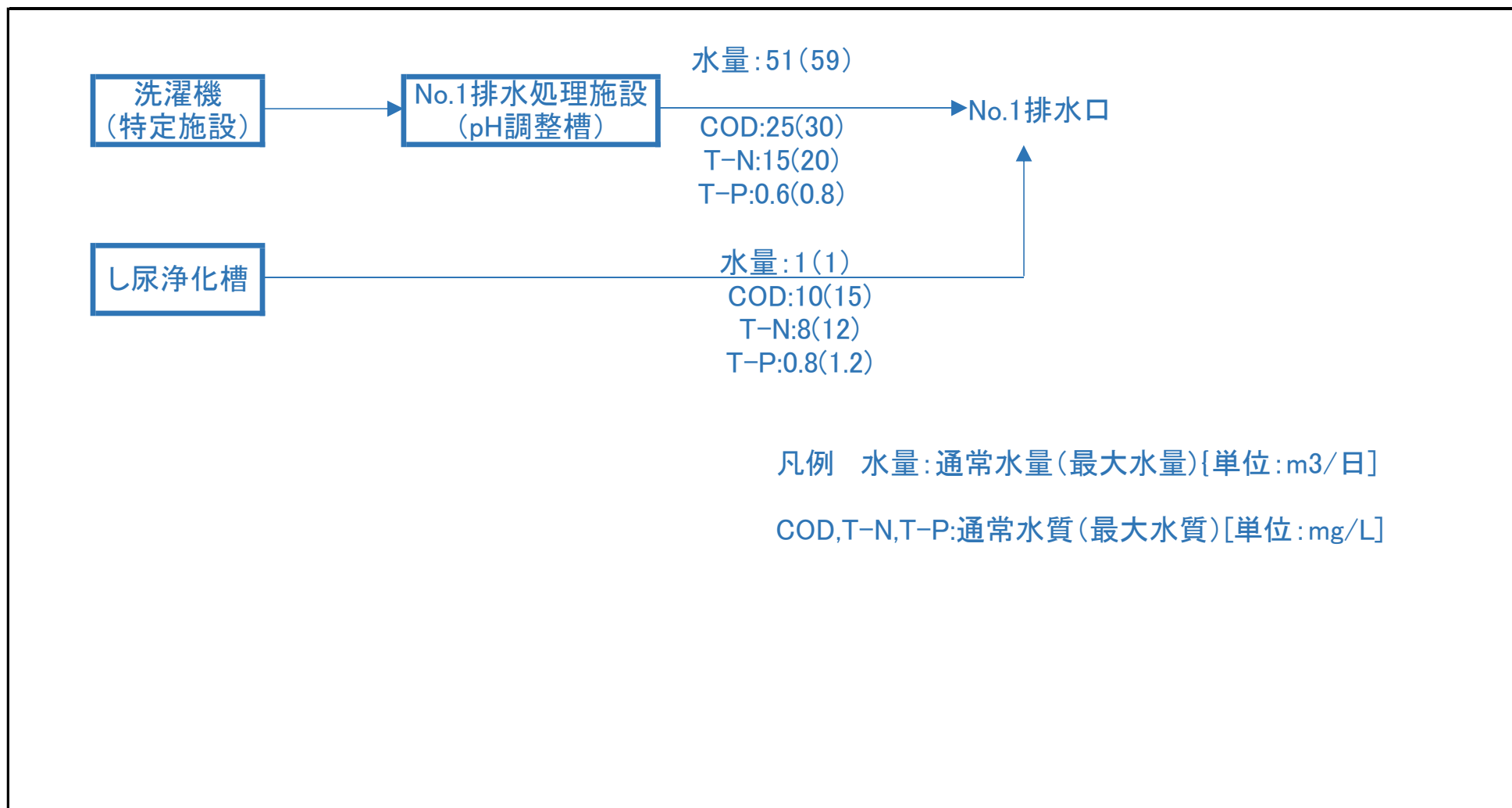
当該工程の排水処理後の水質を記入する。

当該工程の排水量を記入する。

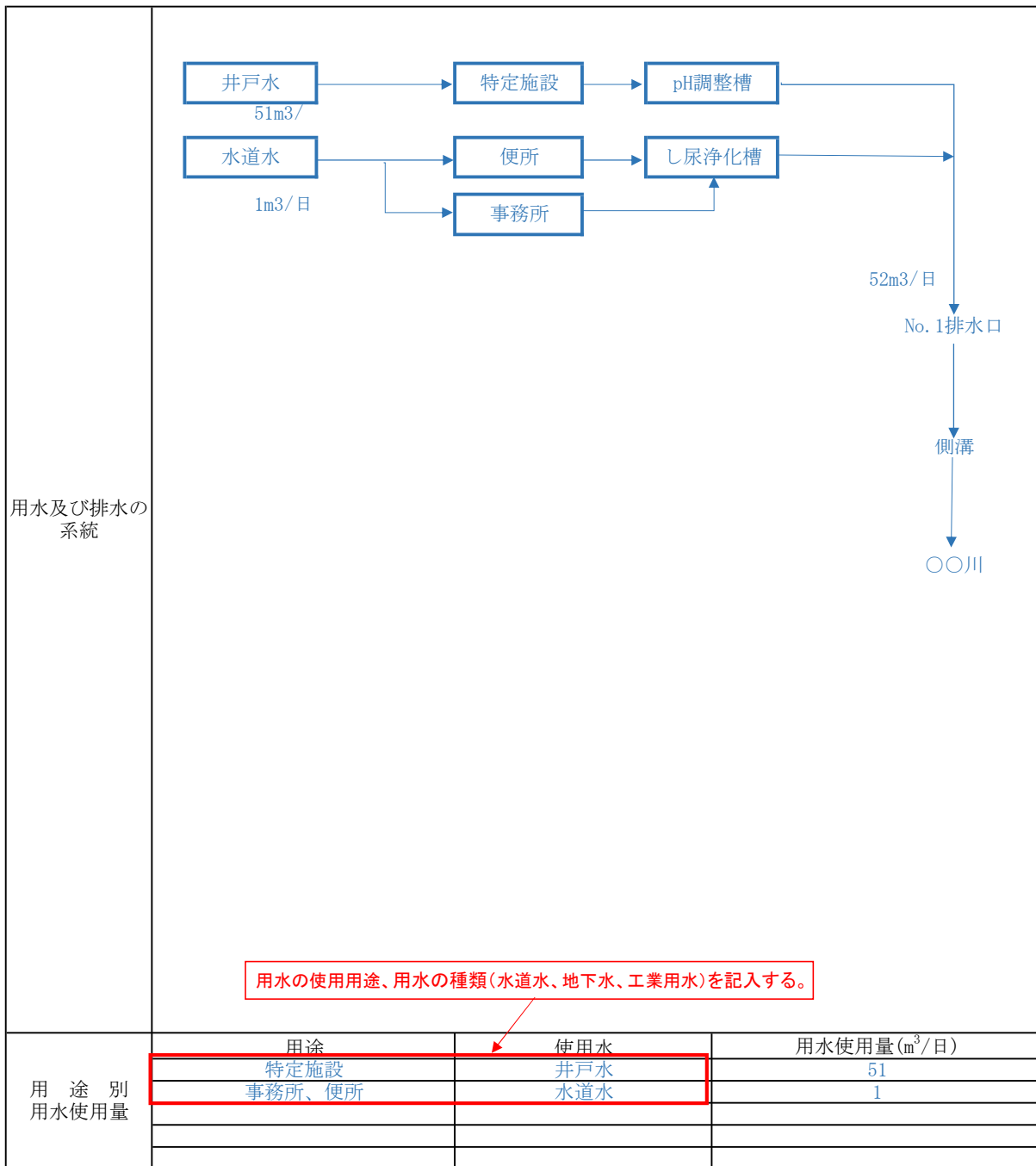
燐含有量について、CODと同様に記入する。

- 備考
- 1 本紙の記載にあたっては、指定項目ごとに作成すること。
 - 2 指定項目の別の項、汚染状態の項及び汚濁負荷量の項には、指定項目について記載すること。
 - 3 窒素含有量について記載する場合には、「Q_{co}」を「Q_{no}」と、「Q_{ci}」を「Q_{ni}」と読み替え、Q_{cj}の項には記載しないこと。
 - 4 りん含有量について記載する場合には、「Q_{co}」を「Q_{po}」と、「Q_{ci}」を「Q_{pi}」と読み替え、Q_{cj}の項には記載しないこと。
 - 5 ※印の欄には記載しないこと。

別添



用水及び排水の系統



工場・事業場の概要

従業員数	10人	公害関係担当者 氏名及び連絡先	一宮 三郎 電話〇〇〇〇 (〇〇) 〇〇〇〇
主な生産品	衣類、タオルクリーニング	日本標準産業分類 細分類番号	7811

(工場付近の略図)

工場・事業場付近の略図を記載する。
最寄りの駅など目印となる建物等を記入すること。